

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 住友金属鉱山(株)播磨事業所

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

- ・当事業所では、環境 ISO14001：2015 年版を取得し、環境保全活動に関する方針等については、環境マニュアルの中で「環境方針」において環境に調和した事業活動、継続的改善の実行など宣言している。

重点テーマ

- ① 硫酸ニッケル、プリカーサー（リチウムイオン電池正極材料）、スカンジウム等の事業を通じた資源の有効活用、省エネルギーなど SDG s (持続可能な開発目標) 達成への貢献
- ② 中間品からの有価金属回収の推進と産業廃棄物の発生量削減
- ③ 化石燃料・電力などの適正管理、高効率設備の導入・転換による省エネルギー
- ④ 排水、排ガス処理などの管理強化と維持改善

- ・統合報告書を毎年発行して、環境負荷、パフォーマンス等を公表している。

(目標・計画等の公表の方法についても記載すること)

1-2 環境保全活動に関する組織体制

- * 公害防止管理組織、並びに ISO14001：2015 年版に基づく事業所 R E Q O 委員会をもって、環境保全活動に関する組織体制としている。
- * 連絡体制については、緊急事態対応の規程に基づいて内部・外部、緊急／異常事態発生時報告ルートを示して周知・教育している。

2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組み結果	今後の取組み計画								
廃棄物削減	<ul style="list-style-type: none"> ・亜鉛製錬設備解体、硫酸ニッケルプラント、プリカーサープラント、スカンジウムプラントなどで新規に発生する廃棄物の管理チェック強化等のコンプライアンス違反防止対策を継続している。 ・低濃度 PCB 含有機器の廃棄を進めた。(40,905kg) 	<ul style="list-style-type: none"> ・低濃度 PCB 含有機器については、令和元年度で処理を完了見込み。 								
環境マネジメントシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年 12 月に外部審査（プリカーサー、酸化スカンジウム認証追加）を受け、合格。 ・トップによるマネジメントレビューを実施、継続して環境リスク管理強化や改善を実行中。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 31 年度の環境改善実行計画の推進。 ・取組みの重点化と硫酸ニッケル事業、プリカーサー事業、スカンジウム事業での効果的な取組み。 								
環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年 6 月 1 日、トップによる全所員への環境教育、CSR 教育などを実施した。他、各部署で必要な教育を展開した。 ・職場毎に分担し、海岸掃除を毎月継続している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全社員への環境教育、CSR 教育を行い意識とレベルの更なる向上を図る。 ・海岸掃除の継続(1回/月)。 								
環境コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度版統合報告書発行。 ・環境保全協議会合同研修会への参加 ・兵庫県環境保全管理者協会活動への参加による環境情報の収集と意見交換。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境情報公開の継続。(統合報告書 1 回/年の発行等) 								
化学物質管理	<ul style="list-style-type: none"> ・亜鉛製錬設備の計画的撤去により重油漏洩、有害物質の地下浸透リスクを低減。タンク、配管等からの有害物質漏えい点検管理強化中。 ・硫酸ニッケル、プリカーサープラントでの危険物事故防止対策の実行、管理手順教育・訓練など実施。 ・PRTR 法に伴う報告を経済産業省と兵庫県に行った。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28 年度</th> <th>H29 年度</th> <th>H30 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PRTR 排出量</td> <td>205 t</td> <td>167 t</td> <td>95 t</td> </tr> </tbody> </table>		H28 年度	H29 年度	H30 年度	PRTR 排出量	205 t	167 t	95 t	<ul style="list-style-type: none"> ・他、有害物質漏えい防止の強化。 ・硫酸ニッケル事業で使用する油類の管理強化。 ・PRTR 報告に係る環境測定頻度増加による傾向管理と削減取組みの強化。
	H28 年度	H29 年度	H30 年度							
PRTR 排出量	205 t	167 t	95 t							
特定物質排出抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季、冬季ピーク電力値を削減。(プリカーサー(リチウムイオン電池正極材料)での設備設計に当たって、3,400 MW 相当の省エネ設備を導入済み) 	<ul style="list-style-type: none"> ・設備のインバーター化等、省エネ活動の推進による CO2 排出量低減の取り組み継続。 ・夏季/冬季でのピーク電力削減の継続。 								
設備保全	<ul style="list-style-type: none"> ・新設備についても安全・環境・品質リスクに配慮した設備の本質安全課設計とし、確実な設備点検・保全管理を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続した環境関連設備の補修、更新、維持改善活動の実施。 								